

## オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2005年8月2日

### 2005年7月31日現在の概況：

7月31日に終わる週の気象は、3週続き高温・乾燥気象であった。NC地区の平均気温は平年を2～5度F上回り、最高気温は100(Moro)～104度Fと成った。Willamette盆地でも高温が続き、平均気温は平年を5～11度F上回り、最高気温は93～102度Fであった。降雨は記録されなかった。1週間の州平均農作業稼働日数は7.0日(前週：7.0日)であった。Topsoil及びSubsoilの土壌水分は前週より悪化した。Morrow郡の冬小麦の収穫は略完了となった。夏季休耕地の冬小麦の単位収量は35～52 bu/acと報告された。春小麦の収量は最悪(5～10 bu/ac)と報告された。Sherman郡の冬小麦の単位収量は、20～90 bu./acと幅が大きい、概して平均(40 bu/ac)より20 bushels増程度の圃場が多いと報告された。春小麦の単収は悪いという。Umatilla郡では凡そ75%の収穫が完了。単収は播種の早かった圃場は良く、播種が遅かった圃場では悪いと言われた。冬小麦の収穫は全州の55%(昨年：46%、5年平均：51%)完了し、春小麦の収穫も例年並びに昨年より早い進捗を示し、全州の45%にて完了した。

冬小麦並びに春小麦の作柄評価は前週より多少良くなった。

7月1日付けUSDA発表の冬小麦の生産予想では、単位収量は6月1日付け発表の58.0 bushels/acreより3 bu/ac多い昨年実績と同じ61.0 bu/acとなった。春小麦の生産量では、単位収量は昨年実績より良く57.0 bu/ac(昨年：48.0 bu/ac)であった。6月からの降雨により土壌水分が改善された事、急激な温度上昇が無かったことがプラス要因となった。詳細は別表の通り。

### 土壌水分：7月31日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	23	48	28	1
Subsoil (%)	25	36	39	0

### 小麦生育状況：7月31日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Year Ave.
Spring wheat Harvested (%)	45	20	21	33
Winter wheat Harvested (%)	55	29	46	51

### 小麦の作柄状況：7月31日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter Wheat This week (%)	2	10	22	44	22
Last week (%)	0	16	26	46	12

Spring Wheat					
This Week (%)	19	24	21	30	6
Last Week (%)	21	29	12	29	2

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

7月1日付けUSDA発表冬小麦の生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 Acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 Bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
June 1				July 1			
OR	780	840	61.0	58.0	61.0	47,580	51,240
USA	34,462	34,271	43.5	44.1	44.5	1,499,434	1,525,302

7月1日付けUSDA春小麦生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
June 1				July 1			
OR	175	125	48.0	-	57.0	8,400	7,125
State	13,174	13,637	43.2	-	43.2	568,918	588,740

この作柄・気象レポートに関してのご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>